

(様式1)

令和2年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県五福公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市五福

3 施設設置年度
昭和33 年度

4 設置目的
昭和33年に初めて富山県で開催された国民体育大会にあわせて整備された運動公園

5 施設概要
敷地面積：15.6ha
主な施設
・県営富山野球場：19,700㎡ 収容人数20,000人
・陸上競技場：26,600㎡ 400mトラック8コース
・野球広場：20,800㎡ 2面
・スポーツ広場：12,100㎡ クレイ舗装

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
174,100	161,800	177,200	166,004	73,176

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H28	H29	H30	R1	R2
5,233	4,152	5,235	5,251	3,519

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H28	H29	H30	R1	R2
5,180	4,602	5,179	5,227	5,275

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は対R1年度比44.1% (92,828人減)、有料公園施設の利用料金収入は対R1年度比67.0% (1,732千円減)であった。
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として4～5月に有料公園施設を休業したほか、6月中旬までの全ての大会が中止となり、その後も観客数の制限を行うなどの措置を行ったため、利用者数、料金収入ともに大幅に減少した。また、冬期において、豪雪により利用できない日が多かったことも影響した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。(陸上競技場の365日供用、野球広場の早朝利用に合わせた供用時間延長、夏休み期間の無休化など)
・緑のリサイクルによる培養土を地域住民に無料配布した。
・桜とイチョウ並木のライトアップを実施し、地域住民をはじめ来園者に夜間の楽しみを提供した。
・令和2年度から富山県道路愛護ボランティア制度に登録し、公園正面の歩道の清掃やプランターの植栽管理を行った。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・ポイントカード発行による利用料金割引を行い、リピーター確保と稼働率向上を図った。
・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、令和元年度にスマートフォン対応にリニューアルした。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：令和2年7月23日（火）～8月31日（月） 実施方法：web方式（景品として県営富山野球場開場70周年記念「ありがとうかっぱえびせん」をプレゼント）
回答者数	102件
結果	・散歩や憩いの場として：満足52%、やや満足31% ・利用した感想：満足45%、やや満足32%
結果を踏まえた改善事項	・きれいなトイレにしてほしい。⇒洋式トイレに改修した。 ・桜のライトアップは色が変わらないほうがいい。⇒令和3年度から固定色に変更予定。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・意見箱を2台設置（野球場正面入口、陸上競技場正面玄関）している。
・利用団体等と五福公園運営会議を実施した。

③ 主な苦情と対応

・駐車場に無断駐車している学生が多い。⇒大学へ引き続きの学生指導を依頼
・早朝の野球練習で大声を出さないよう指導してほしい。⇒試合開始時間を15～20分程度遅らせるとともに、大声を控えてもらうよう主催者に連絡

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

近隣住民の協力を得て、排水路の清掃を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・指定管理者独自の供用時間の延長、供用日の拡大や桜・イチョウ並木のライトアップなど、利用促進及びサービス向上に取り組む姿勢が見られる。
・新型コロナウイルスによる影響により、感染症対策を実施しながらの運営が求められる中でも、利用者が使いやすく、かつトラブルや事故などの防止に努めていただきたい。
・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、コストバランスも考慮しつつ、利用者の安全を最優先に優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
・今後とも、アンケート調査等による利用者ニーズの把握を行うとともに、合宿の誘致や様々な行事での利用を含め、積極的なPRや情報発信の方法の工夫などに努めてもらいたい。